



環境 目標実績一覧表

目標達成または順調に推移：○ 目標未達成：△

項目	バウンダリー	目標	2022年度の実績	評価
気候変動の緩和と適応	温室効果ガス排出量 Scope1+2 ^{※1}	住友化学グループ 連結 2030年までに36%削減(2020年度比)	2020年度比11%削減	○
	Scope3 ^{※2}	住友化学グループ 連結 2030年度までにカテゴリ1および3 ^{※3} について14%削減(2020年度比)	2020年度比4.1%削減	○
	エネルギー消費原単位 ^{※4}	住友化学グループ 連結 中期経営計画の3年間に3%以上改善(新中期経営計画(2022-2024年度)開始に伴い基準年を2021年度に設定)	2021年度比14%改善	○
	物流部門のエネルギー消費原単位	住友化学・ 国内グループ会社 ^{※5} 5年平均で年1%以上の改善	5年平均で年0.2%の悪化	△

(注) 省エネベースの目標および実績詳細はデータ編(P1~2)に掲載

- ※1 Scope1: 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)
Scope2: 工場外からの電力・熱の購入などによる間接的な排出
- ※2 Scope3: 購入する原料の製造段階、輸送段階などでの排出
- ※3 カテゴリ1: 購入した製品・サービス
カテゴリ3: Scope1、2に含まれない燃料およびエネルギー活動
- ※4 エネルギー消費量/連結売上高
- ※5 「省エネ法」に基づく特定荷主の範囲

目標達成または順調に推移：○ 目標未達成：△

項目	バウンダリー	2022年度の目標	2022年度の実績	評価	2023年度の目標
資源循環への貢献	プラスチック資源有効利用の推進	住友化学・ 国内グループ会社 2020年度比年平均1%以上の有価物量+有効利用量 ^{※6} の改善	2020年度比1.7%改善	○	2020年度比年平均1%以上の有価物量+有効利用量の改善
		海外グループ会社 2020年度比年平均1%以上の有価物量+有効利用量 ^{※6} の改善	2020年度比14.6%悪化	△	2020年度比年平均1%以上の有価物量+有効利用量の改善
	産業廃棄物埋立量の削減	住友化学 2000年度比80%削減を維持	2000年度比92.5%削減	○	2000年度比80%削減を維持
		住友化学・ 国内グループ会社 2022年度埋立量の2015年度実績以下を維持	2015年度比4.8%削減	○	2023年度埋立量の2015年度実績以下を維持
産業廃棄物有効利用の推進	住友化学・ 国内グループ会社 2020年度比年平均1%以上の有効利用率 ^{※7} の改善	2020年度比1.0%改善	○	2020年度比年平均1%以上の有効利用率の改善	
	海外グループ会社 2020年度比年平均1%以上の有効利用率 ^{※7} の改善	2020年度比1.0%改善	○	2020年度比年平均1%以上の有効利用率の改善	
PCB廃棄物の適切な処理	住友化学・ 国内グループ会社	・(高濃度PCB ^{※8}) 適正な回収・保管に努め、 早期に処理を完了 ・(微量PCB ^{※9}) 適正な回収・保管に努め、 2025年3月までに 処理を完了	・(高濃度PCB) 住友化学: 処理完了 国内グループ会社: 処理完了 ・(微量PCB) 廃棄物を保有する工場 で処理の継続実施中	○	・(高濃度PCB) 適正な回収・保管に努め、 早期に処理を完了 ・(微量PCB) 適正な回収・保管に努め、 2025年3月までに 処理を完了

(注) 詳細はデータ編(P3~23)に掲載

- ※6 有効利用量 = (内部再利用・再使用量+内部熱回収量) + (外部再利用・再使用量+外部熱回収量)
- ※7 有効利用率 = {(内部再利用・再使用量+内部熱回収量) + (外部再利用・再使用量+外部熱回収量)} / 廃棄物発生量 × 100
- ※8 高濃度PCB: ポリ塩化ビフェニルが電気機器などの絶縁油として意図的に使用されたもの
- ※9 微量PCB: ポリ塩化ビフェニルが電気機器などの絶縁油として非意図的に混入されたもの(0.5mg/kgを超える)



環境 目標実績一覧表

目標達成または順調に推移：○ 目標未達成：△

項目	バウンダリー	2022年度の目標	2022年度の実績	評価	2023年度の目標	
自然資本の 持続可能な 利用	重大環境事故	住友化学・国内 外連結経営会社	0件	0件	○	0件
	法規制など	住友化学	法規制などへの的確な 対応と新規環境規制動向への プロアクティブな対応	大防法(光化学オキシダント関 連)など政府委員会において、 日化協などと共同し、業界の意 見を発出	○	法規制などへの的確な 対応と新規環境規制 動向へのプロアクティブ な対応
	環境保全管理 手法など	住友化学	グループ会社に対する 環境規制対応への個別支援	廃掃法、土対法、フロン法、 PRTR法、水濁法に関して個別 支援を実施	○	グループ会社に対する 環境規制対応への個別 支援
	生物多様性の 保全	住友化学	住友化学生物多様性行動指針 の遵守と取り組み強化	環境省が進める自然共生サイ トを通じた生物多様性保全の 取り組みへ参画	○	住友化学生物多様性行 動指針の遵守
	大気汚染・ 水質汚濁の 防止	住友化学	自主管理値 ^{*1} の遵守	軽微ながら、一部事業所にて排 出法基準値の超過事案が発生	△	自主管理値の遵守
	オゾン層破壊の 防止	住友化学・ 国内グループ会社	・CFCを冷媒とする冷凍機の 使用を2025年度までに全廃 ・HCFCを冷媒とする冷凍機の 使用を2045年度までに全廃	CFC、HCFCを冷媒とする冷凍 機の計画的な更新を実施	○	・CFCを冷媒とする冷凍 機の使用を2025年度 までに全廃 ・HCFCを冷媒とする冷 凍機の使用を2045年 度までに全廃
	PRTR対応の 推進	住友化学	2008年度比60%削減を維持	2008年度比89.9%削減	○	2008年度比60%削減を 維持
		住友化学・ 国内グループ会社	2022年度大気・水域総排出量 の2015年度実績以下を維持	2015年度比13.7%削減	○	大気・水域総排出量の 2015年度実績以下を 維持
	VOCの 排出削減	住友化学	2000年度比排出量30%削減 を維持	2000年度比62.5%削減	○	2000年度比排出量30% 削減を維持
	水資源の 有効利用	住友化学	水資源の効果的かつ効率的な 利用を推進	2021年度比(使用量) 4.1%悪化	△	水資源の効果的かつ効 率的な利用を推進
海外グループ会社		年平均1%以上の水消費原単 位の改善	2020年度比4.3%悪化	△	年平均1%以上の水消費 原単位の改善	
土壌・地下水 汚染防止	住友化学・ 国内グループ会社	有害物の敷地境界外への拡散 防止 ^{*2}	軽微ながら、一部事業所にて 敷地内での漏洩事案が発生	△	有害物の敷地境界外へ の拡散防止	

(注) 詳細はデータ編(P3~23)に掲載

※1 法律・条例など(自治体と締結した協定値を含む)で定められた規制値、基準値よりも厳しい自主管理の目標値

※2 敷地内は管理下に置く